

【平成 29 年 9 月から平成 30 年 5 月までに整形外科にて大腿骨近位部骨折治療を受けた患者さん、及びご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

大腿骨近位部骨折^{*1}の術後合併症に対する当院での取り組み

*1: 大腿骨近位部骨折とは、股関節部（脚の付け根）に痛みがあり、ほとんどの場合、立つことや歩くことができなくなります。多くは転倒し臀部を打撲し受傷しますが骨粗しょう症のひどい人は軽微な外力で骨折する場合があります。

【研究背景・目的】

大腿骨近位部骨折（大腿骨頸部・転子部骨折）は骨粗鬆症^{*2}に関連した骨折であり、高齢者に多く、手術によりいろいろな症状が現れることがあります。飯塚病院では、入院中の大腿骨近位部骨折患者さんの合併症に対して整形外科と総合診療科が連携を行い、患者さんの症状に早めに対応できるよう取り組んでいます。この研究では、飯塚病院における大腿骨近位部骨折患者さんの入院中の過去のカルテや検査結果を遡って症状などの調査を行い、それに対する対応や取り組みが有効であるかについて検討を行います。

*2: 骨粗鬆症（こつそしょうしょう）とは、骨の量が減ってスカスカになり、骨折をおこしやすくなっていたり、骨折をおこしている状態のことです。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 30 年 9 月 19 日から平成 30 年 11 月 24 日です。
- ・対象：平成 29 年 9 月 1 日から平成 30 年 5 月 31 日までに整形外科にて大腿骨近位部骨折の治療を受けた患者さん
- ・取得情報：年齢、性別、既往歴、入院日、手術日、術後の患者さんの症状（発熱、血圧、誤嚥の有無）

【個人情報取扱】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 整形外科 川口 健悟

【問い合わせ先】

飯塚病院 整形外科 川口 健悟

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）